

区ビジョン基本方針 秋葉区

◆ 区の将来像

花と緑に囲まれた、快適でにぎわいのあるまち

◆ 区の担う役割

- 田園や丘陵に囲まれる豊かな自然環境を活かした良好な居住地としての役割を担います。
- 河川や丘陵などの自然特性、県立植物園や古津八幡山遺跡などを活用した憩いと安らぎを提供する役割を担います。
- バイオリサーチパーク構想に基づき、バイオ技術研究の拠点形成を進めることにより、産学官地域が連携する学術・研究拠点としての役割を担います。

◆ 目指す区のすがた

《うるおいのあるまち》

- 区域を潤す信濃川、阿賀野川、小阿賀野川と能代川、緑豊かな里山・丘陵地、そして、これらを優しく包む田園など、恵まれた自然環境は、次世代に引き継ぐべき貴重な財産として保全と活用に努め、人と自然が調和した美しい景観のまちを目指します。

《緑の居住環境とやさしさのまち》

- 緑豊かな自然環境の中で、便利で快適に暮らせる居住環境のあるまちを目指します。
- 地域の支え合いの中で、一人ひとりが安心して暮らし続けることができる、やさしさあふれるまちを目指します。

《歴史と個性を活かすまち》

- 石油や鉄道のまちとして、固有の歴史ある文化を活かしながら、区民と行政との協働による個性ある交流のまちを目指します。

《花のまち》

- 全国屈指の花き・花木の園芸産地としての拠点性を一層高めながら、優良農地を活用し、環境にやさしい安心・安全な農産物の供給を目指します。

《生み出すまち》

- これまで培われてきた産業を育成するとともに、バイオ技術に関する学術・研究の拠点として、産学官地域が連携して新たな可能性を発信するまちを目指します。

◆まちづくりに向けた施策の方向

(1) 豊かな自然環境の保全と活用

① 里山の整備

地域の財産である里山の保全に努めながら、市民の憩いの場として広く親しまれる公園の整備を進めるとともに、丘陵地内の各施設との一体的な整備を進め、市民が心身のリフレッシュや、体験・学習・社会参加できる交流の場を提供します。

② 親水空間の創出

信濃川・阿賀野川などを利用した親水空間の整備を進め、サイクリングロードなどの整備とあわせて、教育やレクリエーション、スポーツを通じた交流を推進します。

(2) 歴史と個性を活かす

① 歴史遺産の活用

弥生時代から古墳時代への変遷がたどれる「古津八幡山遺跡」の整備を進め、里山と人との関わり、地域の歴史を後世に伝えていきます。

② 固有資源の活用

石油や鉄道のまち、全国屈指の花き・花木の園芸産地といった地域の資源を活かし、観光交流の推進や農業の振興を図ります。

(3) 市民活動の支援

① 文化会館の整備

地域固有の文化の継承と創造に向けた市民活動の場として文化会館を整備し、多様化する市民活動を支援します。

② スポーツ施設の整備

総合体育館など、生涯スポーツの拠点づくりを進め、健康で豊かなライフステージづくりを応援します。

(4) 便利で快適な暮らし

① 新津駅周辺地区の整備

新津駅周辺地区での交流促進を図るため、地域活動や地域福祉などの拠点施設や公園・イベント空間などの整備を進めます。

② 公共交通の利便性の向上

矢代田駅周辺地区の整備やパークアンドライドの推進など、鉄道交通の利便性向上による交通混雑の緩和と環境負荷の軽減に向けた取組を進めます。

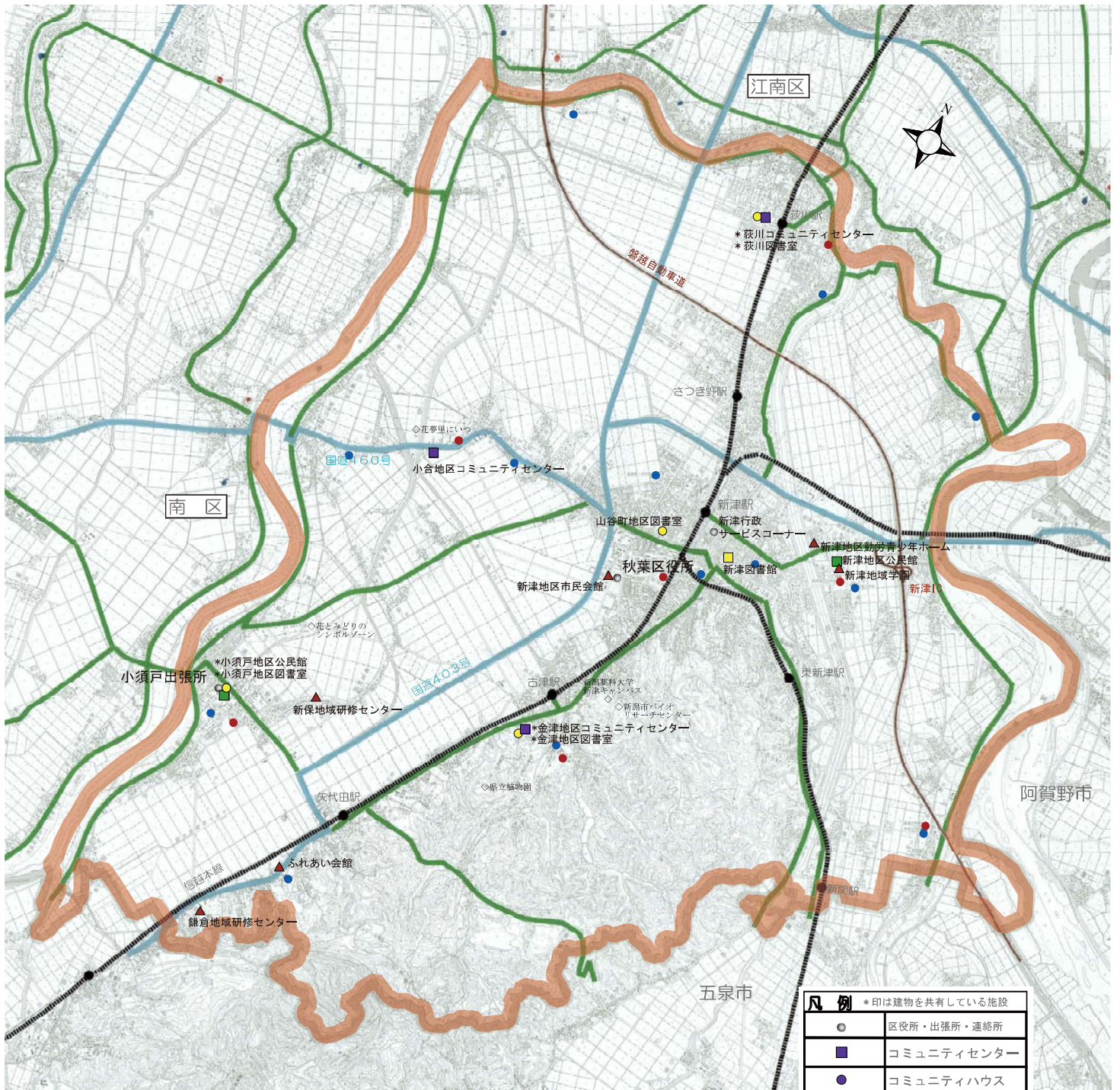
③ 地域間交通体系のさらなる充実

各地域間交流を支える幹線道路の整備を進めることで、速やかな一体化を図るとともに、それぞれの地域の担う役割・機能を有機的に結びつけ、ヒト・モノ・情報の交流の拡大を進めます。

(5) 新たな可能性づくり

① バイオリサーチパーク構想の推進

産学官地域が連携したバイオリサーチパーク構想を推進し、食・環境・医療・農業などの分野における実践的な研究開発の拠点づくりを進めます。



凡例 *印は建物を共有している施設

○	区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
●	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校